



ハテマロ会のネパール大震災支援活動

「ネパールに夢と希望を」

—第2回被災地現地報告会兼チャリティ上映会—

報告書

ハテマロ会

हातेमालो समाज



HATEMALO SOCIETY

日 時：2015年6月14日（日）11：00～15：00

会 場：社会福祉法人うぐいす会 稲毛グループホーム（千葉市稲毛区）

主 催：ハテマロ会

共 催：特定非営利活動法人 市川市ユネスコ協会

特定非営利活動法人 日本ネパール友好協会

後 援：在日ネパール大使館、独立行政法人 国際協力機構、公益財団法人 千葉市国際交流協会、ネパール教育整備促進協会、ネパール緑と教育と技術支援基金

協 賛：公益財団法人 本庄国際奨学財団（Honjo International Scholarship Foundation）

協 力：東京情報大学伊藤研究室、千葉県立市川工業高等学校、千葉県八千代高等学校

指導助言：伊藤敏朗氏（東京情報大学教授）

ハテマロ会理事会

会 長: Dr. Suraj Pradhan	理 事: Dr. Sawan Joshi
副会長: Mr. Rajeeb Shrestha	理 事: Dr. Kabir Shakya
事務局長: Mr. Bharat Maharjan	監 事: Mr. Gautam Maharjan
会 計: Mr. Deep Ratna Shakya	監 事: Mr. Prachanda Mani Bajracharya
理 事: Mr. 高柳治信	顧 問: 北角虎男先生
理 事: Ms. 櫻井美佳	顧 問: 菊池貞介先生
理 事: Mr. Rabin Shakya	顧 問: Mr. Sukuman Thing Tamang

「ネパールに夢と希望を」被災地現地報告会兼チャリティ上映会委員会

委員長: Dr. Suraj Pradhan 委 員: Mr. 高柳治信、Mr. Gautam Maharjan、Mr. Rajeeb Shrestha

指導助言: 伊藤敏明先生 (東京情報大学教授)、菊池貞介先生 (千葉県立八千代高等学校)

●問合せ先: 〒273-0022 東京都江東区南砂 2-3-7-720

TEL: 050-5899-8245(ハル) URL: <http://www.hatemalo.org/> Email: haru206@nifty.com

上映作品

●チャリティ上映『カタプタリ〜風の村の伝説〜』伊藤敏明氏 (東京情報大学教授) 作品上映 51 分

「山から下りてきた妖精と少年の交流から、歴史的な建造物保存の重要性を訴えかける」初の日本人監督によるネパール映画作品、現地のメディアに大きく取り上げられる。

2008 年度ネパール政府国家映画賞受賞、ネパール映画ジャーナリスト協会主催第 1 回ネパール短編映画祭批評家賞受賞、2008 年度カトマンズ国際山岳映画祭上映、NHK 主催 2009 日本賞クロスメディア・フォーラム上映、社団法人映像文化製作者連盟主催映文連アワード 2009 奨励賞受賞、 他

現地報告

●スクマン・ティン・タマン氏

被災したカトマンズ盆地や南方の山村で支援活動を展開。

グーセル村出身。

IT 関連の企業に勤務するかたわら 2007 年故郷に学校を建設、日本とネパールの架け橋となる活動に数多く関わる。

在日ネパール人会幹事長、海外在住ネパール人協会理事、ハテマロ会元会長

チャリティ活動概要



2015年4月25日（土）に発生したネパールの中部ゴルカ郡を震源とする大地震、及び5月12日（火）のカトマンズ東方部大規模地震と相次ぐ大きな余震によって多くの人々が家屋を失われた。犠牲者は、8,700人（5月23日現在）を超えている現状にあり、今日までもカトマンズ盆地を始め全国が恐怖と不安に怯えている。

世界文化遺産が集積するカトマンズ盆地には、独特の生活文化や風習が色濃く残り、人類学、民俗学の研究対象としても魅力ある地域であったが、今回の大地震によって古い街並みが破壊され、90%以上の文化遺産が被害を受けた。

ハテマロ会一同も非常に心を痛めており、祖国から遠く離れて活動を行っている我々は、被災者のみなさんのためにできることから実行していこう願いから立ち上がった。これまで、日本の様々な地域との親善活動を重ねてきた「ハテマロ会」は、もう一つ新たな活動「被災地の復興のために支援活動をする事」に重点を置き、被災地支援のための募金活動を開始している。

その一環として第2回目の上映会兼緊急報告会を実施する運びとなりました。

●現地の対象地域：

今回の地震でネパール全国が被害を受けておりますが、第一歩として、カトマンズ、パタン、バクタプル、バネパ周辺の被害が多い地域に絞り支援を行い、その後徐々に対象地域を広げていく。

●支援方策：

人間の基礎時諸要件（BHN）の支援に合わせて以下の中・長期的な支援方策を行っていく。

- 浄水による飲料水の確保
- 絵本翻訳で子供たちに笑顔を届ける
- 文化的遺産の再建、現地自民による街並みの保護・再建

●被災地現地報告会兼チャリティ上映会プログラム

- ・ 開会、黙祷
- ・ ハテマロ会長挨拶
- ・ 「カタプタリ～風の村の伝説～」のチャリティ上映及び監督伊藤敏朗氏による解説
- ・ スクマン・ティン・タマン氏による被災地緊急報告会
- ・ うぐいす会顧問よりご挨拶
- ・ 意見交換：スラズ・プロダン「ハテマロ会の方針と支援方策」、高柳治信「ハテマロ会現在の進行活動について」
- ・ 閉会

プログラム詳細

2015年6月14日(日)に千葉県千葉市稲毛区所在の社会福祉法人うぐいす会 稲毛グループホームにて第2回被災地現地報告会兼チャリティ上映会が開催されました。多くの方々よりご協力をいただき、予定通りに準備が完了しました。

11:00にプログラムが開会され、スムーズにプログラムが進行されていきました。その様子を写真で示します。



開会

●黙祷

ネパール大震災で亡くなられた方々に1分間の黙祷がささげられました。

●ハテマロ会会長挨拶

会長より会場の皆様に感謝の言葉と送り、本イベントの意義について述べられました。



●監督伊藤敏朗氏によるネパール概要と映画の解説



● 「カタプタリ〜風の村の伝説〜」のチャリティ上映



● スクマン・ティン・タマン氏による被災地緊急報告会



※当時の映像は Youtube にアップしてあります。

1. <https://www.youtube.com/watch?v=fgxUDrs22lg>
2. https://www.youtube.com/watch?v=O4mIyfBwn_s

● うぐいす会顧問宇野様よりご挨拶



● カレーライスを食べながら意見交換：

- 市川ユネスコ協会会長より励ましの言葉をいただきました。



- ▶ 鈴木自治会長より7月12日に開催される幼稚園でのバザーにおいてネパール商品を販売したいという申し出がありました。



- ▶ 千葉ユネスコ協会の高井様よりハテマロ会との協働の可能性について提案してくれました。



- ▶ ぶりっじ代表よりネパール商品の販売ルートについてのヒントをいただきました。
- ▶ その他懇親会の様子



- スラズ・プロダン「ハテマロ会の方針と支援方策」



●菊池貞介顧問より挨拶

- 高柳治信「ハテマロ会現在の進行活動について」



●桜井千葉市市議会議員も応援に駆け付けてくれました。



●閉会

今回の募金総額：

1.	阿部登様	： 10,000円	(小島佳子氏持参)
2.	阿部崇子様	： 10,000円	(小島佳子氏持参)
3.	阿部直美	： 2,000円	(小島佳子氏持参)
4.	菅谷実様+真理様	： 10,000円	
5.	石井暁 様	： 10,000円	(元千葉県教育委員会)
6.	宇野様	： 10,000円	(うぐいす会顧問)
7.	山崎俊雄	： 5,000円	(市川工業高校顧問)
8.	高石玉子様 (市川ユネスコ協会)	： 1,000円	
9.	募金箱 (会員及び参加者)	： 5,002円	
	合計	63,002円	

謝辞

第2回被災地現地報告会兼チャリティ上映会を開催するにあたって、共催をいただきました特定非営利活動法人市川ユネスコ協会、特定非営利活動法人日本ネパール友好協会、後援をいただきました在日ネパール大使館、独立行政法人 国際協力機構、公益財団法人千葉県国際交流協会、ネパール教育整備促進協会、ネパール緑と教育と技術支援基金、ご協力いただきました東京情報大学伊藤研究室、千葉県立市川工業高等学校建築科、千葉県八千代高等学校、指導助言をいただきました伊藤先生、ボランティアおよび参加者のために飲料品をご提供いただきました公益財団法人本庄国際奨学財団、そして場所を提供いただきました社会福祉法人うぐいす会 稲毛グループホームに改めて心より感謝しております。

併せて、ハテマロ会をいつも応援しご参加いただいた皆様に、重ねて感謝の意を表します。そしてボランティアの皆様、その心に敬意を表します。ネパール大震災支援活動は長期的な計画でありますので今回と同等以上のご協力、ご指導を賜りますようお願いいたします。

●今後予定している被災地の復興のための支援活動：

- 映画のチャリティ上映会
- 被災地報告会
- チャリティ音楽コンサート
- 街頭募金活動「日本をきれいに」

●直近の活動予定

1. 街頭募金活(日本をきれいに！ in 上野)

日時:5月30日(土)~7月25日(土) 毎週土曜日 10:00~16:00まで

会場:上野恩賜公園(うへの動物園のある場所)

2. 第4回被災地報告会併せてチャリティ上映会

日時:10月31日(日) 18:00~(予定)

場所:荒川区内

内容:カタプタリ~風の村の伝説~」チャリティ上映会 伊藤敏朗氏作品

※詳細について追ってご案内致します。

報告者：ラジブ・シュレスタ
作成日：2015年7月1日（水）

ハテマロ会の紹介

ハテマロ会は2006年4月14日に設立された民間団体である。本会の名称そのものはネパール語源の言葉であり、「ハート」は手のことで、「マラ」は輪を指し、したがって和訳すると“手をつないだ輪”という意味になる。ネパールは多民族国家でヒンドゥー教に基づくカースト制度が根強く、貧富の差が激しい国である。それは上下関係を構成する主な要素となり、自由に手をつなぐことはむしろ不可能とする構造が作られてきている。それを正して民族・カースト・地域を越えて横断的なヨコ社会の可能性を探るべく名称からこだわったのである。

千葉県を中心にネパール関連の国際交流活動を展開し、日本、ネパール、そして海外の人たちも含め、より多くの方々のご理解とご協力を得て、“ハテマロ”を広げて歩むことを目標としている。

●ハテマロ会の目的：

- ①在日ネパール人及び日本人を含む海外の方々の中に文化交流を通じて異文化理解を深める。
- ②安定的に日本の社会に共生できる環境を構築し、多民族・多文化共生社会の実現のために努力する。
- ③在日ネパール人の豊かな社会基盤及び日本においてネパール人および日本人とのネットワークを構築する。
- ④ネパール・日本間草の根レベルの市民の交流・協力関係を推進する事業を行う。
- ⑤個人的な経験や技能や研究を発揮する場を提供し、それを利用してネパールの社会経済的な発展に寄与する。

上記の目標を実現するために定期的に各種のイベントを企画・開催し、異文化交流を実施している。

●ハテマロ会の存在意義：

今日、日本においてネパール人の団体が200を越えると言われる。その多くは諸民族集団や出身地共有集団であり、他は学生の団体や政治団体やビジネス関係の団体など主に特定の分野に特化している。これらの団体にはそれぞれの資格が有とし、また、団体によっては会費や活動参加費が高く、活動自体がネパール人に向いていないのでネパール人が参加できない状況である。

ハテマロ会ができた頃はネパール関連の団体は少なかったが、上記の問題意識は皆が持っており、国籍や民族やカーストを問わず、究極安い会費や活動参加費で、ネパールの社会文化を日本で再現し、家庭的な環境で誰しもが簡単に参画できる団体が必要とされていた。そういう問題意識の下でできたハテマロ会だったので、多くの方々の賛同が得られて9年間も地道に活動を継続してきて現在に至っている。

●ハテマロ会の主な活動：

ハテマロ会の組織運営そのものは日本人を含めて120人以上の会員に支えられており、活動に協

力してくれる方々は 200 人に上る。ハテマロ会は毎月文化交流を目的で大小の活動を実施してきており、その中でも主に力を入れているのは以下の活動である。



ハテマロデー (4月)



サメバジパーティ (9月)



フェスティバル (2月)

●Gallery

World Heritage in Nepal organized by Ichikawa Unesco



Hatemalo Festival on Nov. 18, 2006



In Celebration of the Golden Jubilee of Nepal Japan Diplomatic Relations by NAJ, Hatemalo Society, NIFJ

